

上富岡倶楽部

2011.3
vol.4

長岡技術科学大学同窓会報

2011年3月11日に発生致しました東北地方太平洋沖地震で被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

ごあいさつ

国立大学法人 長岡技術科学大学 学 長 新 原 皓 一



長岡技術科学大学を卒業・修了されたOB・OGの皆様、初めまして。平成21年9月16日に国立大学法人長岡技術科学大学の第7代目学長に就任致しました新原皓一です。この度は本学同窓会報「上富岡倶楽部」の紙面でご挨拶をさせて頂けることを嬉しく思います。

さて、ご存じのように、本学は「技術科学」すなわち「技学」の創出とそれを担う創造的・実践的な技術者の養成を行い、またこれらを通じて社会との連携を図ることを基本理念とし、昭和51年に開学し、本年で35年目になります。その間に、二万人余りの卒業生・修了生を輩出しており、この卒業生・修了生の国内外の様々な場での指導的技術者・研究者としての幅広い活躍により、本学は確固たる存在理由を築いてきました。しかし、昨今の急激な経済・社会変動により、各大学法人は機能の高度化、グローバル化、社会との一層の連携等が強く求められています。

本学は開学以来、世界の高等教育研究機関運営の規範となるべく、先取性の高い教育手法の実践と世界レベルの卓越した研究成果の発信を続けております。先取的な取り組みとして積極的に推進してきた産学連携は、今や社会的潮流になっています。また、先取性のもう一つに、全国に64校ある高専や多くの工業高校との密接な連携が挙げられます。本学は決して規模の大きい大学ではありませんが、このグループを一つの教育研究体として捉えると、世界のどの大学にも負けない構成人員と予算規模と多様性と広汎性を持つ、大規模な高等教育研究組織体となります。この強力なマス（集団）パワーを生かし、加えて個々（各

高専と技大）が、小回りがきき大きな仕掛けができる教育研究機関である特徴を生かしていけば、世界に類を見ない社会貢献活動を成し遂げていくことができるものと期待しております。

このような本学の他大学にない特徴を更に生かし、急激に変化するグローバル化をも達成しながら、他大学にない特徴ある国立大学法人としての地位を確保するためには、既に技術科学の世界でご活躍されている皆様方のご支援が必要不可欠であると考えます。昨年の3月には、一部の同窓生の皆様との懇談会を開催させて頂き、あらためて卒業生、修了生の皆様の多彩かつパワフルな存在を目の当たりに致しました。本学の輝かしい未来は、日本国内のみでなく、世界を土俵狭しと活躍されている皆様方の支援があつて初めて開花すると思います。今後も未永く長岡技術科学大学と「連携」し、サポートして頂ければ幸いです。

本学には在学学生、卒業・修了生を区切る壁はありません。皆様が何か困難な問題に直面されたとき、疲れたとき、学生時代を懐かしみたいときには、是非本学にお越し下さい。我々は常にオープンな気持ちでお待ちしております。本学は何時でも、何時までも皆様方の為にあります。

皆様方の更なるご活躍を祈り、ご挨拶と代えさせて頂きます。

平成23年3月

Information

技大祭

機械創造工学科4年 倉ヶ谷 翼

こんにちは。第30回技大祭実行委員長を務めました機械創造工学科4年の倉ヶ谷翼です。今年度に開催されました技大祭についてOB・OGの皆様にご紹介させていただきます。

皆様よくご存じの通り、技大祭は「模擬店」、「サークル演舞」、「学生ステージ企画（ビンゴ大会など）」、「フリーマーケット」など、いわゆる「学園祭」なコンテンツを基本としていますが、最近では「科学技術」の特徴を生かした研究室公開やロボコンといった理系の魅力を満載した展示にも力を入れています。特に小・中学生を対象とした「科学のおもちゃ箱」は、遊びを通じてサイエンスの入口に触れることができるため、特に人気の高かったコンテンツです。全学生の12%を超える留学生の皆さんからは、国際色豊かな模擬店にて各々の国の料理を振舞って頂きました。日本では馴染みのない料理ばかりでご来場の多くのお客様からの好評を得ました。また今年は記念すべき第30回目の技大祭ということで、例年にはないスペシャル企画“ガガガSP LIVE”と“打ち上げ花火”を行



いました。皆の努力もあってなんとか成功させることができました。

さて、紹介してきました技大祭ですが、今年度は同窓会の皆様から35万円のご支援を頂きました。このお金は主にスペシャル企画の助成として有意義に活用させて頂きました。また、OB・OGブースとしてTDKラムダ株式会社様からのご出展も頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。

第31回技大祭は今年度より更なる進化を遂げて、2011年9月16～18日に開催の予定です。お忙しいとは思いますが、是非遊びに来てください！先輩方、年に一度のお祭りを一緒に盛り上げましょう！

Voice

NESTの仲間と

建設工学専攻平成11年度修了 中野 亮

皆さんこんにちは。ひょんなことから会報への寄稿を頼まれたのですが、せっかくの機会なので私が学生時代を共に過ごした仲間のことを紹介したいと思います。今も制度が同じなのか分かりませんが、当時の学部は3学期が全休となり、長期の休みをスキー場で越冬する学生が沢山いました。私も、友人を誘って苗場スキー場へアルバイトに行ったのがそもその始まりでした。

バブル経済崩壊直後でしたが、苗場はまだまだ華やかな雰囲気の中であって、アルバイトにスキーにと充実した日々を過ごすことができました。毎晩のように飲み会になり、翌日吐き気を堪えながら仕事をしたことは昨日のことのように覚えています。その仲間達とシーズンが終わってから、スキーチーム“NEST(ネスト)”を立ち上げました。「Naeba Extraordinary Ski Team」と大そうな名前を付けてしまったのですが、もっぱら遊び仲間としての愛称になるまでに時間は掛からなかったですね。

そんなNESTの仲間とは、学生時代にとどまらず卒業後も東京周辺や長岡花火の際に会う機会を作っています。ただ、10年以上経って少しずつ回数や集まる人数が減って



行く中、いつか家族みんなで集まりたいという想いを抱くようになっていました。そしてこの夏ようやく念願がなつて、長野県の黒姫高原でキャンプを張りメンバーが一同に会すことができました。お互いの家族を紹介して、バーベキューをしながら酒を酌み交わすのは非常に楽しかったです。気の置けない面子ですからつい飲みすぎてしまい、ひどい二日酔いになったのは言うまでもありません。

2日間の日程は短かったですが、それぞれ仕事や育児に忙しい30代。家族ぐるみの盛大なイベントが出来たことは、ある意味では不思議なことなのかもしれません。私自身は、得がたい出会いの機会を与えてくれた母校に想いを馳せつつ、今後とも人生のエッセンスとして彼らとの交流を深めて行きたいと思います。

Topics

女子学生対象のメイク講座を開催しました！

昨年12月1日、「新社会人に向けたマナー＆メーキャップセミナー」と題して女子学生限定のメイク講座を開催いたしました。これは、同窓会の学生支援事業の一環として一昨年から始めた新しい試みです。

当日は、24名の皆さんにご参加いただき、講師にお招きした株式会社資生堂の方から、メイクの基礎から実習まで約2時間の講習を行っていただきました。参加者からの、就職活動の際のメイクの仕方、スーツの着こなしなどの質問等にも、的確にアドバイスをしていただきました。

参加者の皆さんからは「メイクは自己流だったのでプロの方に教えてもらって大変参考になった。」「実践を通し

て学べてよかった。」「就活だけでなく日常生活でも役に立ちそう。」「といった嬉しいご意見を多数いただきました。

同窓会では、引き続きさまざまな就活講座を開催し、学生の皆さんが社会に出ていくためのお手伝いをしていきたいと考えております。機会がありましたら、ぜひご参加ください。

(メイク講座記事担当：機械系

助教 田辺里枝 2006年3月エネルギー・環境工学専攻修了)



同窓会ではOB・OGの皆様からの事業実施案およびご寄稿をお待ちしております

今年度もいくつかの事業を実施させて頂きましたが、まだまだ同窓会として出来ることがあるかと存じます。同窓会の事業について、皆様からのお知恵を拝借し、広くご意見を募集いたします。大学の事業や公共機関からの助成は、特に厳格な公平性が求められますが、むしろ我々は既存の枠組みに囚われないニッチな支援環境の構築（例えば、特殊事情のある留学生や子育てへの支援など）が可能ではないかと考えています。

また、同窓会会員の皆様の現況をご紹介頂けませんでしょうか？今回は、苗場スキー場でのアルバイト仲間の同窓会イベントを紹介して頂きました。皆様、仕事以外で

もアクティブに活動されているのではないのでしょうか？ 勿論仕事に関係したトピックでも結構です。様々な分野での活躍の様子をご寄稿頂ければ幸いです。

以上の実施案およびご寄稿を頂きました方には、同窓会特製チタン二重タンブラーをプレゼントさせて頂きます。世界に名だたる新潟県三条市の職人さんが、最新の技術と感性を込めて作り上げた逸品です。



Topics

マレーシア同窓会開催

マレーシア国内で活躍している本学出身者を中心とした同窓会が、2010年10月9日にマレーシア、クアラルンプールにて開催されました。同様の同窓会は、マレーシアで過去にも開催されており、今回は第4回目となります。本学からは武藤理事・副学長、矢鍋名誉教授ほか教員6名と、マレーシアで実務訓練を行っている学生が参加しました。長岡技術科学大学同窓会では、マレーシア同窓会開催のお祝いの記念品として、出席者に、本学のロゴマーク入りチタン製カップを配布し、今後も、引き続き、本学および同窓会への支援をお願いしました。新潟県の地域産業である金属加工技術が生かされている記念品は、参加者にとっても好評でした。また、本学を卒業・修了した留学生を中心とした同様の海外での同窓会は、マレーシア以外の国で

も行われています。長岡技術科学大学同窓会では、本学の特長でもある活発な海外交流の実績を将来に向けて生かすためにも、このような活動に積極的に関わっていくようにしたいと考えています（マレーシア同窓会については、本学ホームページにも掲載されています。

<http://www.nagaokaut.ac.jp/j/news/101019.html>）。

なお、今回配布した本学のロゴマーク入りチタン製カップは、本学および同窓会との結びつきをずっと持ち続けてもらいたいとの願いを込めて、平成21年度卒業・修了生にも記念品として配布しております。

（マレーシア同窓会記事担当：システム安全系

准教授 宮下幸雄 1998年3月材料工学専攻）



Topics

1/20(水) 就職支援トークショー 運営所感

在学生へのサービスとして“就職”に向けて何らかの情報提供が出来ないか、と考えて、同窓会理事会主催による就職支援のためのトークショーは、試行錯誤を繰り返し、変革を継続しながら今回で4回目の開催となった。

初回から携わってきた筆者が鑑みても、今回で実施形態がほぼ固まったように思える。

年々厳しくなる新卒者の就職状況、各種報道では内定率〇〇%、史上最低数値などと対象者を不安に陥れる内容が先行され、あせりばかりを増長させ、合同企業説明会は常に満員御礼状態。

その裏側では、新卒者への門戸を開いていても訪れる学生が皆無であるなど、需要と供給にミスマッチが否めない点も指摘されている。

「このような業種で働きたい」、ではなく、「この会社で働きたい」が先行している現状では、内定が取れないところか、エントリーすら出来ない、という現実があっても不思議ではない気がする……。今の社会が求めている事と学生さんの考え方に何かにギャップがあるのではないかとその何かが共通の解であり、全員が納得の解であれば、この様なおかしい状況は解消されると思うのだが。

今回のトークショーでは、ここ数年の厳しい就職戦線を勝ち抜いて現在社会人として活躍している、卒業後5年以内の若きOB・OGを、学内の指導者先生方から適任者を推薦して戴き、企業サイドには趣旨ご理解の上で会社業務の一環として派遣して戴いた。

1社即決の方から、1年間苦労の積み重ねであった方ま

で、OB・OGさんもいろいろな方がいて、業種研究から内定に至るまでのプロセスも7名7様であった。

直近の卒業生の事実に基づいた経験トークは、合同企業説明会や会社説明会では伺えない内容であった。就職活動が年を追う毎に厳しさを増すと煽られている、これから活動を本格化させる学生さんにとってみて、これまでとは異なった視点で就職活動や仕事選びを考えるきっかけになったものと思われる。就職マニュアルだけで通用する世界では無いぞと、聴講者は皆感じ取ってくれた筈。

終了後の懇親会の場合でも講師7名は大人気で、常に学生さんに取り囲まれ質問攻めに合っており、飲食を楽しむ場合では無かった模様、これは前年までは見られない風景でもあった。

又、今回は学生さんの他にも、教職員先生の聴講も多く見受けられ、大学全体で就職活動への関心の高さが伺える場でもあった。

これならば、学生さんが卒業後の就職について指導教官と話し合え、貴重なアドバイスが受けられる環境が整っている事は間違いないだろう。

本学学生さんの、就職希望者就業率100%が継続される事を望みたい。

ニーズさえあれば、次年度以降も改善を加えながら、継続していきたいイベントではある。本トークショーの聴講者がOB・OGとして戻ってきて経験トークを発表して貰えるサイクルが出来れば、これは素敵な事ではないか。

（司会・進行担当：安井 忠 1987年3月材料開発工学専攻修了）



●平成22年度 会計報告

1. 一般会計収支 <自：平成22年3月1日～平成23年2月28日>

■収入

科目	金額 (円)
入会金	5,597,880
積立金の取り崩し	0
雑収入	84,993
前期繰越金	74,756,132
合 計	80,439,005

■支出

科目	金額 (円)	内 訳
事業費	8,320,283	通信・運搬 54,879 広報費 1,747,814 助成・貸与 5,911,820 活動経費 605,770
事務費	390,350	会議費 224,120 雑費 166,230
新規積立 (積立会計へ)	50,151,013	
次期繰り越し	21,577,359	
合 計	80,439,005	

2. 積立金会計収支 <自：平成22年3月1日～平成23年2月28日>

■収入

科目	金額 (円)
前期繰越額	2,056,778
新規積立	50,151,013
合 計	52,207,791

■支出

科目	金額 (円)
積立金の取り崩し	0
次期繰越額	52,207,791
合 計	52,207,791

2011年3月5日

会計担当 阿部 勝正

2011年3月5日

会計監査 熊倉 清一
山田 昭博

●平成23年度 会計計画

1. 一般会計収支 <自：平成23年3月1日～平成24年2月29日>

■収入

科目	金額 (円)
入会金	6,000,000
積立金の取り崩し	0
雑収入	100,000
前期繰越金	21,577,359
合 計	27,677,359

■支出

科目	金額 (円)	内 訳
事業費	5,700,000	通信・運搬 100,000 広報費 2,200,000 助成・貸与 2,400,000 活動経費 1,000,000
事務費	400,000	会議費 200,000 雑費 200,000
新規積立 (積立会計へ)	0	
予備費	500,000	
次期繰り越し	21,077,359	
合 計	27,677,359	

2. 積立金会計収支 <自：平成23年3月1日～平成24年2月29日>

■収入

科目	金額 (円)
前期繰越額	52,207,791
新規積立	0
合 計	52,207,791

■支出

科目	金額 (円)
積立金の取り崩し	0
次期繰越額	52,207,791
合 計	52,207,791

2011年3月5日

会計担当 阿部 勝正

2011年3月5日

会計監査 熊倉 清一
山田 昭博

編集後期

今回の会報誌では、6ページへの増量を果たすことが出来ました。今後OB・OGの皆様からのご意見、ご寄稿を頂くことで、様々なご活躍を情報発信できる会報誌となることを期待しています。

同窓会連絡先

長岡技術科学大学同窓会

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1

電話/FAX 0258-46-5505 e-mail dosokai@vos.nagaokaut.ac.jp

住所、勤務先、帰省先などに変更がございましたら、下記までご連絡ください。

1. ホームページ : <http://www.info-niigata.or.jp/~nut-doso/> 2. ファックス : 0258-46-5505

3. 郵送 : 〒 940-2188 長岡技術科学大学 同窓会 (個別郵便番号だけで届きます)

長岡技術科学大学同窓会報 平成23年3月25日発行

この同窓会報は環境にやさしいFSC™森林認証紙を使用しています。



(13000)